

2016 年 7 月 11 日

生産性・信頼性・保守性をさらに向上させた 自動車部品の量産加工ラインに最適な省スペース・高速マシニングセンタ “UN-600/30V” “UN-600/30H”

ヤマザキマザック株式会社(社長:山崎智久、愛知県大口町、TEL:0587-95-1131)は、自動車部品量産加工向けに、生産性・信頼性・保守性をさらに向上させた立形マシニングセンタ“UN-600/30V”と横形マシニングセンタ“UN-600/30H”の2機種の販売を開始します。7月14、15日に美濃加茂製作所のワールドテクノロジーセンタで開催する「MAZAK マスプロマシフェア」に実機を展示します。

自動車部品の量産加工においては、機械単体の高生産性、高信頼性、高保守性ととも、省スペースな自動化ライン構築への対応が求められます。

立形マシニングセンタ UN-600/30V 及び横形マシニングセンタ UN-600/30H は、これらを高次元で実現します。従来からの特徴である極座標制御方式(UN-600/30V)、相対制御方式(UN-600/30H)の採用による極限までコンパクト化された機械幅は、限られた工場面積を最大限活用する省スペースの自動化ラインの構築を可能とします。

UN-600/30V、UN-600/30H では主軸出力特性を見直すことで加減速時間を短縮、生産性をさらに高めました。また防塵仕様のLMガイド及びボールねじの新採用などの徹底した耐切粉対策や、点検・整備・調整を簡略化する為の機械構造の改良など、信頼性・保守性も向上させました。

UN-600/30V 及び UN-600/30H は、自動車部品の量産加工に求められる単位面積当たりの生産性や、稼働率を維持する為の信頼性・保守性を高いレベルで兼ね備えた省スペース・高速マシニングセンタです。



立形マシニングセンタ UN-600/30V 横形マシニングセンタ UN-600/30H

お問合せ先 : ヤマザキマザック株式会社 経営企画室 広報
TEL:0587-95-6849 www.mazak.jp

掲載されているプレスリリース内容は、報道関係者へ発表した情報の要約です。
ご覧の時点で予告無く情報変更が行われている場合がありますので、あらかじめご了承ください